



未来の観光って
今までの観光となにか変わるの？



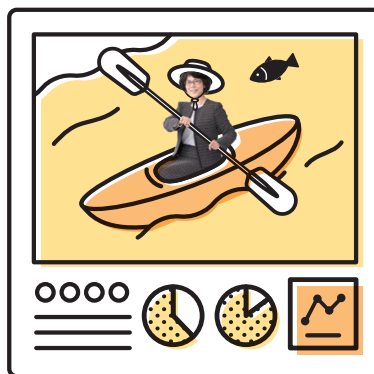
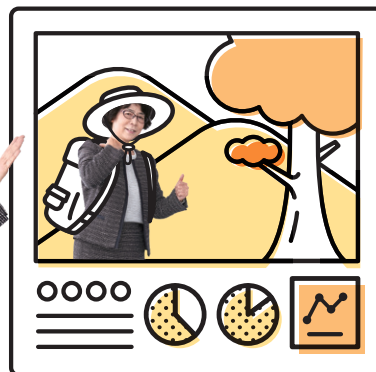
これからの観光は 「持続可能」がキーワード。

世界的に注目を集める
「サステナブル・ツーリズム」。

近年、世界の海外旅行者の数は増加しており、2030年には年間18億人に達すると予測されています。しかし、観光客が増えることが、その地域の環境汚染や自然破壊、地域文化の衰退につながることも。そこで、昨今重要視されているのが、「サステナブル・ツーリズム」です。これは持続可能な観光という意味で、旅行者が観光を楽しむだけではなく、地域住民や自治体などにもメリットがあり、自然環境や地域社会を壊さない。そして、将来観光地に関わるあらゆる人びとまでその恵みを受け取れるようにする観光開発のことです。

質の高い観光は、国際競争力を高める。

日本でもサステナブル・ツーリズムの取り組みははじまっていますが、思うほど進展していないのが現状です。そこで、先進国であるスロベニアやオランダを訪れ、聞き取り調査を実施。サステナブル・ツーリズムがその地域にどのようなメリットをもたらすかなどのデータを収集しました。それらのデータを普及活動に利用していく計画です。また、観光地が持続可能な観光への取り組みをどれくらい行っているかの「見える化」にも取り組んでいます。さまざまな地域を比較・分析し、その結果を提示することで、各地がより質の高い観光をめざすようになり、日本の国際競争力が高まるのではないかと考えています。今後、国際観光へのニーズはますます拡大することが予想されています。語学運用能力や国際情勢についての知識、異文化適応能力を身につけ、この分野で活躍できる人材をめざしましょう。



二神 真美 先生

Mami Futagami

日本の大学を卒業後、アメリカバージニア州の大学で、日本語クラスの助手を務めました。その後、アメリカで修士課程を修了し、研究職の道に進みました。

私の
宝物



上司から贈られた風景画。

民間企業で勤務していた際に、アメリカ人の上司から贈られたアメリカの田舎の風景画。これを見ると現在のツーリズム研究のきっかけを与えてくれたアパラチア地方を思い出します。